

# わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

地域包括ケアシステムを支える人々

56

2020年4月、当院に「諏訪地域認知症疾患医療センター」が開設されました。認知症疾患医療センター（以下、センター）とは、地域の保健医療・介護機関等と連携し、認知症の方やそのご家族に適切な専門医療を提供する医療機関のことです。主な役割としては、①専門的医療の提供、②地域連携の推進、③日常生活支援などが挙げられ、専任の医師や看護師、社会福祉士、心理士（公認心理師や臨床心理士）などの職種が連携してセンターの運営をしています。



当センターでは、これまで医師や看護師を中心に、諏訪地域の認知症診断連携パスを利用した認知症診療や、専門

医療相談、診断後の支援などに力を入れてきました。また、ライフドアすわとの連携について話し合いを行ったり、認知症で困っている方がいる時には認知症初期集中支援チーム会議に参加させていただいたり、地域の関係者との情報交換にも努めています。そのほか、世界アルツハイマー月間にちなんだ啓発事業やLCV、YouTube

## 認知症疾患医療センターの活動紹介 心理士の立場から

諏訪赤十字病院 精神科部臨床心理課 兼  
認知症疾患医療センター 公認心理師・臨床心理士

いち かわ ゆう  
市川 悠



ライフドアすわとの共催で行われた認知症カフェ

eを活用した市民公開講演会なども行い、地域啓発にも積極的に取り組んできました。そのような中で、私も心理学的な支援を専門とする心理士の立場から、多職種間の業務

のすき間を埋められるように、他のスタッフとも協力しながらセンターの運営に携わってきました。これまで関わってきた心理士の業務についても、ここでは大きく2つほ

認知症疾患医療センターの主な役割

①専門的医療の提供	②地域連携の推進	③日常生活支援
<input type="checkbox"/> 認知症の鑑別診断と初期対応 <input type="checkbox"/> 周辺症状や身体疾患への対応 <input type="checkbox"/> 専門医療相談	<input type="checkbox"/> 関係者とのネットワーク作り <input type="checkbox"/> 認知症に関する研修の開催や協力 <input type="checkbox"/> 普及啓発	<input type="checkbox"/> 診断後の生活についての相談 <input type="checkbox"/> 当事者同士の交流会の開催

ご紹介いたします。

一つ目は、認知機能検査です。診療の中で、簡易的な認知症の検査では患者さんの生活の困難さをつましく評価できない場合に、より専門的な認知機能検査を実施し、検査結果を適切な診断や支援に役立てていただいています。

二つ目としては、心理学やストレス理論などの知識を活かした地域啓発への協力です。昨年度は、諏訪市社会福祉協議会主催の介護家族教室、今年度はライフドアすわとの共催で行われた認知症カフェ「えがお」でのミニレクチャーなどで講師を務め、「介護者のストレスケア」について話す機会をいただきました。

現在、認知症高齢者等への国の施策（新オレンジプラン）では、認知症の方本人への支援はもちろんのこと、その本人を支えるご家族への支援も重要視されています。その両者の視点を含めた地域の様々なニーズに添えていけるよう、引き続き当センターとしても、多職種で協力し合いながら、スタッフ一同努力して参りたいと思います。

（毎月第2日曜日掲載）